

TS-M2M-0006v3.6.2

BBF 仕様によるデバイス管理

Management enablement (BBF)

アブストラクト：

本仕様書は、oneM2M における管理機能要件を満たすために、BBF TR-069 プロトコルの使い方や、正常時とエラー時のメッセージフロー、oneM2M サービスレイヤと BBF TR-069 プロトコルの対応関係、oneM2M リソース管理・BBF TR-069 プロトコル Remote Procedure Calls (RPCs)・BBF TR-181i2 データモデルの対応関係を規定する。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

（1. Scope の中身（英文）を訳して記入）

本文書は oneM2M の管理リソースと BBF TR-181 データモデル間の対応関係を規定する。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 基本データ型の対応関係

本章では、主要なデータ型（Boolean 型や String 型など）に関する oneM2M と TR-106 間の対応関係を表で規定している。

6 章 識別子の対応関係

本章では、TR-069 で規定されている 3 種のデバイスそれぞれを oneM2M の<node>リソースで表現した際に nodeID 属性に設定すべき値について、例を交えて規定している。

7 章 リソースの対応関係

本章では、TR-069・TR-106・TR-181 にて規定されているデバイス各種を oneM2M にて規定されているリソースで表す方法について規定している。

8 章 管理手順の対応関係

本章では、TR-069 における RPCs 手順を oneM2M の主要なリソースで表す方法について規定している。

9 章 サーバ間の通信

本章では、oneM2M のサーバに当たる IN-CSE と、BBF のサーバに当たる ACS (Auto-Configuration Server)間の通信について規定している。

10 章 新しい管理技術専用のリソース

本章では、TR-181 のデータモデルを oneM2M がベンダに応じて拡張する際の方法を規定する予定である。

Summary :

Specifies the usage of the BBF TR-069 protocol and the corresponding message flows including normal cases as well as error cases to fulfil the oneM2M management requirements.

- Protocol mapping between the oneM2M service layer and BBF TR-069 protocol. The Mca reference point, ms interface and la interface are possibly involved in this protocol mapping.
- Mapping between the oneM2M management related resources and the TR-069 protocol RPCs and TR-181i2 data model.

Specification of new TR-181 data model elements to fulfil oneM2M specific management requirements that cannot be currently translated.

The present document describes the protocol mappings between the management Resources for oneM2M and the BBF TR-181 Data Model.